

体罰等に関する全校アンケート調査結果の分析について

1 趣旨

体罰等に関するアンケート調査は、体罰や不適切な指導に関する実態把握を行い、これらの行為の防止、根絶に向けた取り組みに役立てる趣旨で、昨年度、全市立学校の児童生徒・保護者に対し行った。

この回答を受け、事実確認の作業も経て、別添資料「体罰等に関する全校アンケート調査の集計等の状況について」に示すとおり、体罰・不適切な指導が把握された。

これらから、体罰・不適切な指導が、授業・部活動等どのような状況で起きているのか、また、教員がどのような心理状況になったときに起きがちなのかなどをより詳細に分析・整理し、そうした結果を研修に反映させるなどして、体罰等の根絶がさらに教員に浸透するよう取り組みを進めることとする。

2 分析の方法

学校及び教育委員会事務局において「体罰」及び「不適切な指導」として確認した事案について、校種ごとに、教員や児童・生徒の属性や状況、学校・学級等の状況等を、調査結果や学校からの事実確認の報告をもとに整理する。

このデータの整理を行いながら、体罰・不適切な指導を行う教員やその状況等に共通点や一定の傾向が見いだせないかを分析する。

3 データの整理

以下、主な項目について、現段階でデータを分類・整理した結果を示す。

① 教員の年代・性別

【体罰】 (人)

年代	小学校		中学校		高等学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	4	1	2	0	0	0	6	1
30代	8	1	3	0	0	0	11	1
40代	2	0	2	0	0	0	4	0
50代	6	6	3	0	2	0	11	6
60代	4	1	0	0	0	0	4	1
不明	1	0	0	0	0	0	1	0
計	25	9	10	0	2	0	37	9

- ・ 中学校・高校において体罰を行った教員は全て男性であり、小学校でも全体の7割を超えている。

【不適切な指導】

(人)

年代	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	8	9	7	1	0	0	0	0	15	10
30代	13	14	15	2	0	0	0	1	28	17
40代	12	20	12	4	0	0	0	1	24	25
50代	21	32	14	10	1	0	1	0	37	42
60代	8	5	3	0	0	0	0	0	11	5
不明	0	0	0	1	1 (行為者不明)		0	0	0	1
計	62	80	51	18	2 (男1、行為者不明1)		1	2	115	100

* 行為者不明は合計から除く

- ・ 小学校では女性教員による不適切な指導の比率が高く、中学校でも一定数見られる。
- ・ 年齢層の高い教員による不適切な指導が多い。

※ 体罰・不適切な指導とも、教員の年齢や経験年数による傾向等を、さらに他の項目とリンクさせるなどして、分析する必要がある。

② 児童生徒との関わり

中学校で部活動顧問による体罰・不適切な指導が目立つ。

【体罰】

(人)

関わり	小学校		中学校		高等学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
担任	21	9	1	0	0	0	22	9
担任外	2	0	6	0	1	0	9	0
部活顧問	0	0	3	0	1	0	4	0
その他	2	0	0	0	0	0	2	0
計	25	9	10	0	2	0	37	9

【不適切な指導】

(人)

関わり	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
担任	53	76	9	2	0	0	0	2	62	80
担任外	6	3	11	7	1	0	1	0	19	10
部活顧問	0	1	27	6	0	0	0	0	27	7
その他	3	0	4	3	1 (行為者不明)		0	0	7	3
計	62	80	51	18	2 (男1、行為者不明1)		1	2	115	100

* 行為者不明は合計から除く

※ 授業や部活動等、具体的な学校活動の中で、児童生徒との関わりや教員の状況がどのようなものであったかをさらに詳細に分析する必要がある。

③ 時間・学校活動等

【体罰】

(件)

活動	小学校	中学校	高等学校	計
授業中	26	7	1	34
休み時間	2	0	0	2
放課後	2	1	0	3
部活動	0	3	1	4
学校行事	3	1	0	4
その他・不明	2	0	0	2
計	35	12	2	49

- ・ 小学校・中学校とも授業中の体罰が多い。

【不適切な指導】

(件)

活動	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
授業中	104	26	0	0	130
休み時間	8	1	0	0	9
給食	14	0	0	0	14
掃除	3	1	0	0	4
放課後	4	5	1	0	10
部活動	1	32	1	0	34
ホームルーム	1	2	0	0	3
その他・不明	18	14	0	2	34
計	153	81	2	2	238

- ・ 小学校では、授業中に多く発生しているが、給食時間での不適切な指導も見られる。
- ・ 中学校では、授業中とともに部活動での不適切な指導が目立つ。

※ 具体的な学校活動の中で、児童生徒との関わりや教員の状況がどのようなものであったかをさらに詳細に分析する必要がある。

④ 場所

③の「時間・学校活動等」の結果が概ね反映されている。

【体罰】

(件)

場所	小学校	中学校	高等学校	計
教室	26	8	0	34
運動場等	2	2	2	6
廊下	1	0	0	1
その他	6	2	0	8
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

場所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
教室	130	30	1	1	162
運動場等	5	28	0	0	33
廊下	2	4	0	0	6
その他	16	19	1	1	37
計	153	81	2	2	238

※ 児童生徒との関わりや教員の状況と学校活動の場所との関係を、さらに詳細に分析する必要がある。

⑤ 児童生徒の学年・性別

【体罰】

(人)

学年	小学校			中学校			高等学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年生	5	0	5	6	3	9	1	0	1
2年生	5	1	6	6	0	6	2	0	2
3年生	4	0	4	0	0	0	0	0	0
4年生	8	0	8						
5年生	12	0	12						
6年生	3	0	3						
特別支援学級	2	0	2	0	0	0			
計	39	1	40	12	3	15	3	0	3

- ・ 小学校・中学校・高校とも男子に対する体罰が多い。
- ・ 小学校では4、5年生が多く、中学校では、1、2年生が多い。

【不適切な指導】

学年	小学校				中学校				高等学校				特別支援学校 (高等部)			
	男	女	不明	計	男	女	不明	計	男	女	不明	計	男	女	不明	計
1年生	8	6	0	14	9	14	1	24	0	0	0	0	1	1	0	2
2年生	14	3	1	18	20	5	2	27	1	0	0	1	0	0	0	0
3年生	15	5	0	20	6	3	2	11	1	0	0	1	0	0	0	0
4年生	16	9	0	25					0	0	0	0				
5年生	12	3	2	17												
6年生	4	1	2	7												
特別支援学級	9	0	0	9	0	0	1	1								
学年不明	3	1	2	6	1	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	28	7	116	36	22	11	69	2	0	0	2	1	1	0	2

- ・ 不適切な指導も男子に対するものが多いが、女子に対しても一定数行われている。
 - ・ 中学校では、1、2年生が多い。
- ※ 児童・生徒の発達段階や学齢での行動傾向等との関係については、さらに他の項目とリンクさせるなどして分析する必要がある。

⑥ 学級規模（授業中に事案が発生したもの）

【体罰】

（件）

学級の人数	小学校	中学校	高等学校	計
10人以下	1	0	0	1
11～15人	0	0	0	0
16～20人	1	0	0	1
21～25人	2	0	0	2
26～30人	9	0	0	9
31～35人	10	4	0	14
36人以上	3	3	1	7
計	26	7	1	34

【不適切な指導】

（件）

学級の人数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
10人以下	0	0	0	0	0
11～15人	1	0	0	0	1
16～20人	2	0	0	0	2
21～25人	7	0	0	0	7
26～30人	25	4	0	0	29
31～35人	39	10	0	0	49
36人以上	13	8	0	0	21
特別支援	4	1	0	0	5
不明	13	3	0	0	16
計	104	26	0	0	130

※ 学級の人数だけではなく、個々の事案における児童生徒との関係性や業務の状況が与える影響なども加えて分析する必要がある。

⑦ 学校規模

【体罰】

（件）

学級数	小学校	中学校	高等学校	計
9学級以下	3	0	0	3
10～14学級	10	4	0	14
15～19学級	11	3	0	14
20学級以上	11	5	2	18
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

学級数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
9 学級以下	11	12	1	0	24
10～14 学級	43	44	0	2	89
15～19 学級	24	10	1	0	35
20 学級以上	75	15	0	0	90
計	153	81	2	2	238

※ 学校の規模だけではなく、個々の事案における児童生徒との関係性や業務の状況が与える影響なども加えて分析する必要がある。

⑧ 教員の認識について

体罰・不適切な指導とも、全ての校種において、多くの教員が指導の一環のつもりで行ったとの認識を示している。一方、不適切な指導においては、感情的になったとの認識を示すものも多くなっている。

【体罰】

(件)

認識	小学校	中学校	高等学校	計
指導の一環のつもりだった	28	11	2	41
感情的になった	5	1	0	6
制止のつもりだった	2	0	0	2
計	35	12	2	49

【不適切な指導】

(件)

認識	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
指導の一環のつもりだった	132	53	1	2	188
感情的になった	15	21	0	0	36
制止のつもりだった	2	0	0	0	2
その他	4	7	1	0	12
計	153	81	2	2	238

※ どうして体罰・不適切な指導を行ったか、そもそもの体罰や不適切な指導への認識などに加え、児童生徒の状況や周辺環境等が教員の心の動きにどのように影響を与えていたのかなどにも目を向けた詳細な分析が必要と思われる。

4 体罰事案の態様について

アンケート調査の回答や聞き取りなどを踏まえて事実が確認された体罰の態様については、「そもそも体罰に関する認識が薄いもの」、「厳しい指導を行う際にそれが体罰となっているもの」、「自身の感情をコントロールできず体罰に至っているもの」、「教員と児童生徒との信頼関係の中で指導方法を誤っているもの」、「危機回避の対応が行き過ぎであったり、誤っていたりするもの」などの例が複合して見られる。

以下に、体罰アンケート後に確認した事案を含め、事実確認した体罰の概要を示す。

No.	校種	発生年月	職年代	体罰の様態など
1	小	H28.12	教諭 30代男	放課後、階段で児童同士の喧嘩があり、一方がもう一方を階段から突き落とそうとする行為が見られたことから、制止するために二人の頭をつかんで頭同士をぶつけた。
2		H29.5		運動会の練習に積極性を欠いた児童に対し、しっかり取り組ませようと頭を拳で軽くたたき行為を2回行った。6月頃にも同じ児童に対し、他の児童への暴力行為を振り返らせる意図で、児童の腹部に拳を軽く押しつけた。
3		H29.11		他の職員を馬鹿にする言動をしていた児童に対し、この言動を改めさせる意図で、児童の腹部を足の裏で押すようにつけた。
4	高	H29.8 ～ H29.9	教諭 50代男	顧問を務めるバスケットボール部の活動中、所属する生徒複数名の胸を手の甲で繰り返し小突いたり、腹を手で押したりした。また、同部の活動中、当該教員がディフェンス指導をした際、安全確認を十分に行わず、生徒の一人にパスを出したところ、そのボールが顔にぶつかり鼻血を出させた。
5	中	H28.4 ～ H28.12	教諭 20代男	授業で忘れ物をした場合、男子生徒に対しては、もみあげをつまんで引っ張ったり、頭の上に教諭自身の手を乗せてその手を自ら拳骨で殴ったりし、女子生徒に対しては顔の近くに教諭自身の手を添え、その手を自ら平手打ちしたりするなどのルールを作り、実行した。
6		H29.7		部活動の指導において、外部コーチの指導に対する言動を指導しようとして、正座して話を聞いていた生徒を強く押して倒した。
7	中	H29.2	教諭 50代男	給食準備時間に、服装が乱れていた生徒を注意した際、生徒が教諭を無視したことに対し、その行動を指導する意図で自分の方を振り向かせようとして左胸を右手の甲で5回たたいた。
8	中	H29.7	教諭 30代男	部活動におけるスマッシュの指導の際、フォームを直す意図で3人の生徒の臀部をラケットのガット面で軽くたたいた。また、部活動中、生徒に対し指導としては不適切な発言(暴言)があった。
9	中	H29.9	教諭 30代男	【体罰アンケート後の事案】 授業中、私語を繰り返す生徒に、「テープを貼るぞ」と注意したところ、「貼って」と言われ、口に養生テープを貼った。
10	小	H26.2	教諭 50代女	校外学習のバスを降りる際に、他の児童に体当たりをするように行動した児童がふざけているように見えたため、状況を十分確認しないまま、ふざけるのをやめさせる意図で耳を引っ張った。
11		H28.11		掃除中、教室で掃除をしないでほうきを振り回し、他の児童をなじり、からかう児童に対し、行為をやめさせ指導するために、廊下に出そうとした際に、耳を引っ張った。
12	小	H29.7	教諭 20代男	授業中、学級全体の私語を注意した際、一人だけ他の児童に話しかけたり、悪ふざけしたりする児童にさらに口頭で注意をしたが、その行為が収まらなかったため、座っていた児童の胸ぐらをつかんで立たせ、教室前方に連れてきて押し倒した。その後廊下に出して落ち着かせようとしたが、児童の気持ちが収まらず、結果として授業を受けさせない状況となった。
13	小	H26.6	講師 20代男	授業中、私語が多く口頭で何度も注意したが私語をやめなかった児童に対し、感情的になり、児童用机をかけたところ、倒れて児童の腹部にあたった。
14	小	H29.7	教諭 50代男	掃除中、机を運ぶよう指示をしたが、動かず立った状態にいた児童に対し、行動を促すために、右手拳でノックするように3～4回頭をたたいた。
15	小	H29.2	教諭 20代女	授業中、忘れ物の理由を言えない児童に対し、理由を聞くために、児童の服の前部(胸部)を引っ張って、座席から教室前方まで連れて行き叱責した。
16	小	H29.5	教諭 60代女	体育の授業中、整列の指示にも話を聞かず並ばなかった児童に対し、話をしっかり聞くようにと指導する意図で耳を引っ張った。
17	中	H29.3	教諭 30代男	当該教諭がコメントを書いて返却したワークシートを生徒が受け取った際、当該生徒の態度を指導しようとして廊下連れ出した。その際に机や扉に体が当たった。
18		H29.4		授業中、関係のない文庫本を読んでいた生徒の本を取り上げた際、指導する意図で、その本の平らな部分で頭をたたいた。

No.	校種	発生年月	職年代	体罰の様態など
19	中	H29.5	教諭 40代男	授業中、私語が止まらない生徒を指導しようと、生徒の胸ぐらをつかみ、立ち上がらせた際、よろけた生徒の背中が壁に当たった。
20	中	H29.5	教諭 20代男	校外学習において、生徒が同グループの女子に対しての発言について指導された際、当該生徒が「男子だけ指導された」という不満をつぶやいたため、その態度を指導しようと強く叱責するとともに左肩を押した。
21	中	H29.7	教諭 30代男	駅伝練習終了後の体操を行っていた際、生徒の声が出ていないため、これを指導する意図で、該当生徒の右臀部をひざで小突いた。
22	小	H30.2	教諭 50代男	【体罰アンケート後の事案】 授業中、他の児童の頭をたたいた児童に対し、自らの行動を振り返り反省を促し指導しようとした際、児童の頭を3～4回平手でたたいた。
23	中	H29.12	講師 60代男	【体罰アンケート後の事案】 授業中、紙粘土を丸めて飛ばしたものが当該講師の背中にあたった際、投げた生徒がすぐに申し出なかったこと、申し出の内容が言い訳に聞こえたことから、この態度を指導しようとして胸ぐらをつかんで押した後、平手で後頭部を1、2回たたいた。
24	小	H25.12	教諭 30代男	授業中、児童が隣の児童につかみかかったため、引き離そうと服の胸元をつかみ、廊下まで引っ張って連れ出した。
25	小	H26.7	教諭 50代男	給食の後片付けでクラス分の食器を給食室に運ぶ際、児童の持っていた食器かごが下に傾き、汁がこぼれたので、注意を促し食器かごの傾きを正すために児童の上腕部を強くつかみ持ち上げた。
26	小	H27.7	教諭 50代女	授業中、トイレに行きたいと言ってきた児童に、理由を聞こうと返答を待っていたところ、児童が失禁してしまった。
27	小	H27.11	教諭 50代男	体育館での集会活動中、他の児童に乱暴するなど興奮し暴れた児童を外に連れ出すために、児童の背後から首に手を回し、引っ張って連れ出した。
28	小	H27.12	教諭 30代男	理科の実験中、ふざけた行動をとった児童に、理科室から退室するよう指示した。児童は、教室の外で立たされたまま実験に取り組むことができなかった。
29	小	H28.5	教諭 30代男	授業中、集中できずにさわぐ児童に対し、廊下で学習させようとして、手足を引っ張って廊下に連れ出した。
30	小	H28.5	教諭 30代男	運動会の練習中、注意を受けたことで校庭に寝そべて動かなくなった児童を、両足をつかんで校庭の隅まで引きずり、擦過傷を負わせた。
31	小	H29.1	教諭 20代男	授業中、泣いていた他の児童を真似たり、暴言を吐いたりする児童に対し、それらの言動を注意する意図で頬を右手の甲でたたいた。
32	小	H29.2	教諭 50代女	児童同士の喧嘩を制止しようとした際、児童から「うるせー」と言われ、同時に頬をぶたれたので、反射的に頬を指先でつつくようにたたいた。
33	小	H29.4	教諭 20代男	授業中、私語が著しい児童に対し、近くの児童の学習環境を守るため、席を移動させようと椅子を引いたところ、尻餅をつかせてしまった。
34	小	H29.4	教諭 40代男	家庭科の調理実習中、ふざけて他の児童に包丁を向けていた児童に対し、制止させるために包丁を取り上げた後、この行動について指導しようとして胸のあたりを強く押したため、背中が壁にぶつかった。
35	小	H29.6	教諭 30代男	委員会活動としてのプール清掃中、ふざけていた児童に対し、指導しようとして上腕部を強く引っ張ったため、その場に転倒させてしまった。
36	小	H29.6	教諭 60代男	授業中、大声でしゃべるなど落ち着かなかった児童に対し、授業を受けるよう促す意味で、頭をつかんで黒板の方を向かせた。
37	小	H29.6	教頭 50代男 教諭 20代女	給食準備中に座席から離れない児童をランチルームに移動させるため、一人が児童の上半身を、もう一人が足を持って持ち上げ座席から離れた。
38	小	H29.9	教諭 60代男	陸上記録会の練習中、よそ見をしていた児童に対し、話を聞くように「おい」と声をかけながら肩に手をかけたところ、児童の身体を押すような形になりよろけさせてしまった。
39	小	H29	教諭 20代男	給食時に、クラスで決めてあったおかわりのルールに従わなかった児童に対し、強い口調で指示するとともに、無理矢理体を引っ張った。
40	小	H29	教諭 50代女	授業中、奇声等を発していた児童に対し、周囲の児童の学習の邪魔にならないよう、腕を引っ張り教室から出した。
41	中	H29.7	教諭 50代男	授業中、関係のない文庫本を読んでいた生徒の本を取り上げた際、注意しようとしてその本の平らな部分で頭をたたいた。

5 今後の方向性

体罰・不適切な指導を行った際の状況、教員の心理などをさらに詳しく把握し、分析・整理することを継続して行う。

それらの結果を踏まえて、これまでの体罰・不適切な指導の防止に向けた取り組みに加え、

- ・ 体罰・不適切な指導につながった具体例を示しながら、そこに至る教員自身の心の動きを客観視できるようにする
- ・ 体罰・不適切な指導を行いがちな状況に陥らないよう、様々な状況に応じた指導スキルを向上させる
- ・ 体罰・不適切な指導を行いがちな外的要因がある場合には、それを取り除くよう努める

などの視点を持ちながら、これまでの研修等では不十分だった部分をより強化していく具体的な取り組みを検討していく。

【参考資料】

※ 表中の数値は、いずれも平成 29 年 5 月 1 日現在

○ 仙台市立学校における年代別教員数〔資料 2 1 / 9 ページ 3 ① 参考〕

(人)

年代	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20代	149 (3.6%)	294 (7.1%)	113 (2.7%)	91 (2.2%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	7 (0.2%)	268 (6.5%)	395 (9.6%)
30代	222 (5.4%)	352 (8.6%)	210 (5.1%)	163 (4.0%)	15 (0.4%)	5 (0.1%)	3 (0.1%)	4 (0.1%)	450 (10.9%)	524 (12.7%)
40代	177 (4.3%)	271 (6.6%)	157 (3.8%)	149 (3.6%)	55 (1.3%)	17 (0.4%)	9 (0.2%)	17 (0.4%)	398 (9.7%)	454 (11.0%)
50代	265 (6.4%)	477 (11.6%)	267 (6.5%)	244 (5.9%)	105 (2.6%)	21 (0.5%)	13 (0.3%)	12 (0.3%)	650 (15.8%)	754 (18.3%)
60代	60 (1.5%)	72 (1.7%)	45 (1.1%)	24 (0.6%)	15 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	5 (0.1%)	121 (2.9%)	101 (2.5%)
計	873 (21.2%)	1,466 (35.6%)	792 (19.2%)	671 (16.3%)	193 (4.7%)	46 (1.1%)	29 (0.7%)	45 (1.1%)	1,887 (45.9%)	2,228 (54.1%)
	2,339 (56.8%)		1,463 (35.6%)		239 (5.8%)		74 (1.9%)		4,115 (100%)	

※ 校長、教頭、主幹教諭、養護教諭、栄養教諭を除く

○ 仙台市立学校における学年別・男女別児童生徒数〔資料 2 4 / 9 ページ 3 ⑤ 参考〕

(人)

学年	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校(高等部)		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年生	4,490 (5.6%)	4,285 (5.3%)	4,141 (5.1%)	3,937 (4.9%)	523 (0.6%)	395 (0.5%)	14 (0.1%)	8 (0.1%)	9,168 (11.4%)	8,625 (10.7%)
2年生	4,479 (5.6%)	4,273 (5.3%)	4,413 (5.5%)	4,163 (5.2%)	522 (0.6%)	403 (0.5%)	14 (0.1%)	6 (0.1%)	9,428 (11.7%)	8,845 (11.0%)
3年生	4,558 (5.7%)	4,414 (5.5%)	4,398 (5.5%)	4,156 (5.2%)	515 (0.6%)	378 (0.5%)	11 (0.1%)	8 (0.1%)	9,482 (11.8%)	8,956 (11.1%)
4年生	4,601 (5.7%)	4,251 (5.3%)			36 (0.1%)	20 (0.1%)			4,637 (5.8%)	4,271 (5.3%)
5年生	4,524 (5.6%)	4,225 (5.2%)							4,524 (5.6%)	4,225 (5.2%)
6年生	4,366 (5.4%)	4,041 (5.0%)							4,366 (5.4%)	4,041 (5.0%)
計	27,018 (33.5%)	25,489 (31.6%)	12,952 (16.1%)	12,256 (15.2%)	1,596 (1.9%)	1,196 (1.5%)	39 (0.1%)	22 (0.1%)	41,605 (51.6%)	38,963 (48.4%)
	52,507 (65.1%)		25,208 (31.3%)		2,792 (3.4%)		61 (0.1%)		80,568 (100%)	

○規模別学級数 [資料2 5 / 9 ページ3⑥ 参考]

(学級)

学級の人数	小学校	中学校	高等学校	計
10人以下	44 (1.7%)	0 (0%)	9 (0.3%)	53 (2.1%)
11～15人	14 (0.5%)	3 (0.1%)	12 (0.5%)	29 (1.1%)
16～20人	31 (1.2%)	4 (0.2%)	4 (0.2%)	39 (1.5%)
21～25人	179 (7.0%)	34 (1.3%)	5 (0.2%)	218 (8.5%)
26～30人	578 (22.5%)	84 (3.3%)	5 (0.2%)	667 (26.0%)
31～35人	662 (25.7%)	366 (14.2%)	36 (1.4%)	1,064 (41.4%)
36人以上	220 (8.6%)	258 (10.0%)	25 (1.0%)	503 (19.5%)
計	1,728 (67.2%)	749 (29.1%)	96 (3.7%)	2,573 (100%)

○規模別学校数 [資料4 5 / 9 ページ3⑦ 参考]

(校)

学級数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
9学級以下	23 (12.0%)	25 (13.0%)	1 (0.5%)		49 (25.5%)
10～14学級	44 (22.9%)	23 (12.0%)	0 (0%)	2 (1.0%)	69 (35.9%)
15～19学級	34 (17.7%)	12 (6.3%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	48 (25.0%)
20学級以上	19 (9.9%)	4 (2.1%)	3 (1.6%)		26 (13.5%)
計	120 (62.5%)	64 (33.3%)	5 (2.6%)	3 (1.6%)	192 (100%)

※1 全日制と定時制の課程を持つ高等学校は、それぞれを1校として計上している。

※2 特別支援学校の小・中学部、高等部は、それぞれの課程を1校として計上している。